

2011 年 JEAN 活動報告

◆JEAN 主催事業◆

海ごみサミット愛媛会議

2011 年の海ごみサミットは、愛媛大学との共催として開催し、海洋ごみ問題を「プラスチックによる海洋汚染問題」としてとらえ、科学的な調査研究の現状を共有するというこれまでとは違った観点から問題を探りました。あわせて、東日本大震災に起因する漂流物問題について注視するという発表や討議も行いました。

海ごみプラットフォーム・JAPAN

JEAN では、2007 年から全国に広がる関係者が一堂に集まる機会として「海ごみプラットフォーム・JAPAN」を開催しています。2011 年は、8 月と 11 月の 2 回、海岸漂着物処理推進法制定後の各地の課題と発生抑制対策の進展について、国や都道府県の海洋ごみ対策の現状と民間との連携等についての国内外の事例紹介について情報交換を行いました。

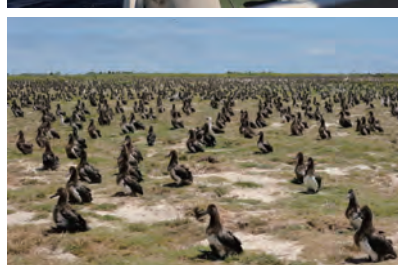
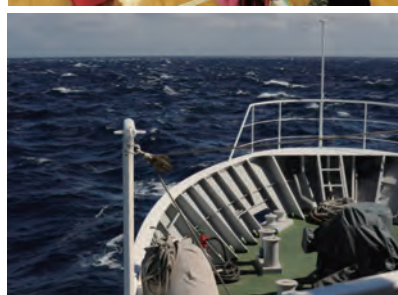


◆学術研究への参画・協力◆

「海ゴミによる化学汚染物質輸送の実態解明とリスク低減にむけた戦略的環境教育の展開」

環境省地球環境研究総合推進費研究プロジェクト：愛媛大学沿岸環境研究センター、九州大学、国土技術政策総合研究所の研究者による共同研究

JEAN は、九州大学大学院工学研究院の清野聡子准教授が担当するサブテーマ 3 において海洋ごみ問題に関する学習会「海ごみサイエンスカフェ」と地域市民との意見交換等に協力参画。研究紹介：全国 10 箇所の web カメラ=><http://icataquo.jp/umigomi/>



津波起源漂流がれき目視観測

2011 年 3 月 11 日の津波によって発生した大量の漂流がれきは、現在、北太平洋を東に向かって漂流しており、今後の北太平洋における船舶航行の安全阻害、北西ハワイ諸島（世界遺産）に生息する野生生物への被害およびアメリカ西海岸・ハワイ諸島への漂着が予想されている。本観測は、これらの予防や対応策に資するために必要な漂流物の目視データを収集することを目的としている。=><http://seafrogs.info/marinelitter/mmd311.html>

ライタープロジェクト「ミッドウェー・ハワイ調査」

震災以前より、日本国内から流出したごみが黒潮に乗って北太平洋へ流出していたことはあまり知られていない。JEAN では、2011 年 6 月、北太平洋のほぼ中央に位置する北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁のサンド島とイースタン島に上陸し、海岸漂着物やコアホウドリが北太平洋上で誤食して集めたプラスチック漂流物を採取する機会を得た。また 9 月には、ハワイ諸島のオアフ島、マウイ島、ハワイ島を訪れ、漂着ライターを採集する機会を得た。結果概要：海ごみプラットフォーム・JAPAN / 海のはなし=><http://malipjapan.jp/>

◆JEAN のウェブサイトの情報◆

”美しい海を子どもたちへ” JEAN / 一般社団法人 JEAN のウェブサイト
<http://jean.jp/>

e4 SHOP×JEAN / JEAN が制作した資料や推薦グッズの販売サイト
<http://e4.gofield.com/shop/products/category/101>

海ごみプラットフォーム・JAPAN / JEAN が運営する海ごみ情報の共有サイト
<http://malipjapan.jp/>

「みんなの問題・海のごみ」写真パネルの貸出 / JEAN オリジナル普及啓発資料の貸出
<http://jean.jp/material/photo/>



後援：環境省、水産庁、海上保安庁、国土交通省

協賛：MS&AD グループホールディングス、(株) 樫出版「EVERBLUE」、(株) ゴーフィールド、(株) 大伸社、(株) ナチュラル・ハーモニー、GREENSTYLE 基金、サッポロビール (株)、(社) 食品容器環境美化協会、ジョンソンコントロールズ、日本エヌ・ユー・エス (株)、ネットオフ (株) (50 音順)

発行：一般社団法人 JEAN

〒185-0021 東京都国分寺市南町 3-4-12 マンションソフィア 202 TEL 042-322-0712 FAX 042-324-8252
E-mail cleanup@jean.jp Website <http://jean.jp/>

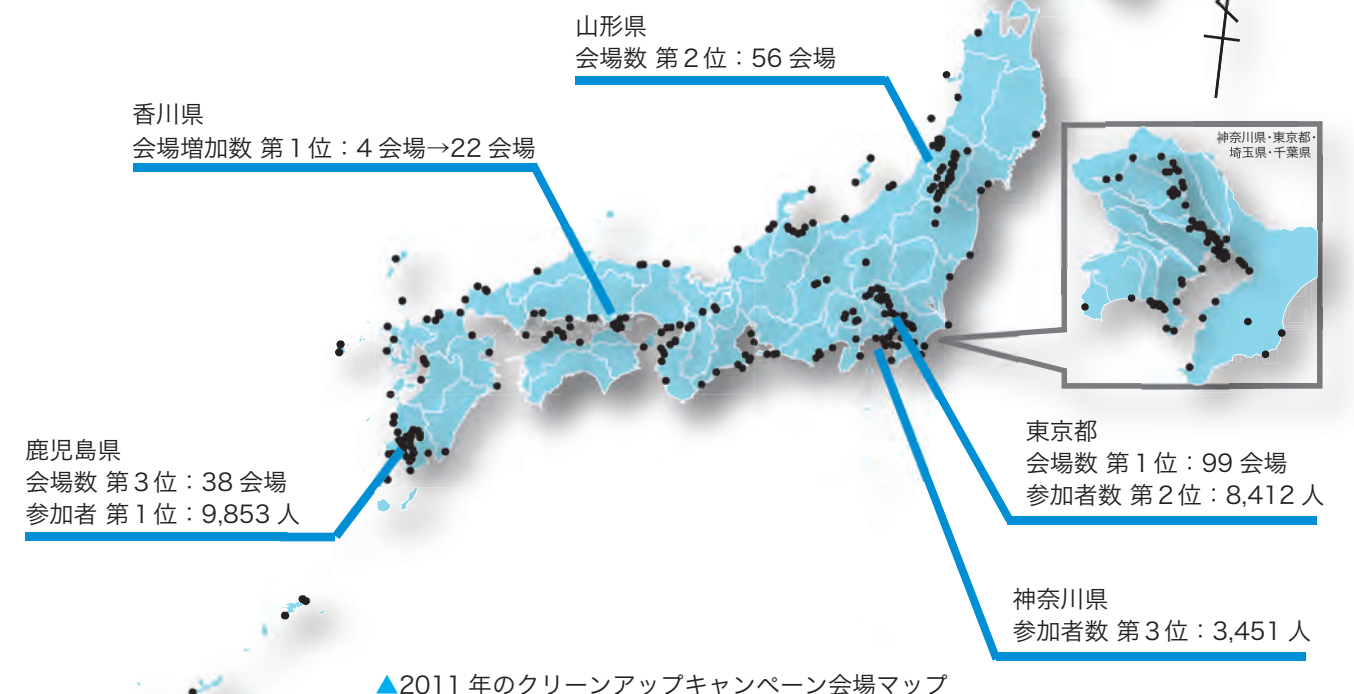
International Coastal Cleanup 2011

国際海岸クリーンアップ 2011 結果概要



クリーンアップキャンペーン全体報告

2011 年のクリーンアップキャンペーンには、北は北海道から南は沖縄県まで延べ 37,608 人が参加し、159km の海岸、河岸、湖岸、水中および内陸から 59 トンのごみを回収しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



▲2011 年のクリーンアップキャンペーン会場マップ



国際海岸クリーンアップ (International Coastal Cleanup : ICC) とは

海のごみ問題は、拾うだけでは決して解決しません。それはいくらごみを回収しても、新たにごみが繰り返し発生し、漂着するためです。「国際海岸クリーンアップ (ICC)」(実施期間：9～10 月) は、アメリカの環境 NGO オーシャン・コンサーバンシーが提案する世界共通の手法で、ごみの内容を調査し、ごみの問題点を参加者一人ひとりに気づいてもらいながら改善するための方策を探る活動です。これから先もずっとごみを拾い続けるのではなく、私たち自身がごみを減らさなければ海ごみ問題は解決しないことを、参加者一人ひとりに理解してもらうことが目的です。